

■ ニネベとイスラエル

ニネベは、イスラエルの周辺国アッシリアの都でした。イスラエルとアッシリアは仲が悪かったのです。ですから、ヨナはニネベに対して、神様からの預言を伝えたくはありませんでした。預言を聞いて、ニネベの人々が悔い改め、彼らの罪が赦されるようなことがあってはならないと思ったからです。

■ 預言者ヨナ

紀元前の 800 年から 750 年の間、北イスラエルで働きました。預言者は神様の命令に従い、遣わされる場所に行って神様のことばを伝えなければなりません。しかし、ヨナは神様の命令に従わず逃げようとしてしました。そのようなヨナを、神様は暴風と大きな魚を用いて目的地のニネベに遣わしました。

■ メッセージのポイント

- (1) ヨナの怒り - ヨナは神様の命令に従いましたが、心からではありませんでした。自分の働きによってニネベが悔い改めたという喜びではなく、むしろ怒りと不満を抱きました。

- (2) 唐胡麻を喜ぶヨナ - ヨナはニネベの人々よりも陰を作ってくれた唐胡麻を喜びました。

- (3) ヨナと違う観点 - 神様は悪の道を歩んでいたニネベの人たちをあわれみました。